

AHNの導入および継続要否の再検討に関する院内ガイドライン(案)

- Stage1: 経口摂取困難を確認、もしくは近い将来に予想される状況
 - ① 本人もしくは家族に状況説明のうえで、予測される経過とその際の治療方法について提示しておく。
 - ② 耳鼻咽喉科での嚥下評価(VE)を依頼する。
 - ③ 嚥下評価および全身状態を考慮のうえ直接訓練を試みる。
- Stage2: 誤嚥性肺炎の繰り返しや必要量の経口摂取が困難な状況
 - ④ Step1の①②③を経たうえで、今後のAHN(経腸栄養・経静脈栄養を含む)について家族・関係職種を交えて検討する。
- Stage3: AHNの方法に依らず、全身状態が安定している状況
 - ⑤ 経口摂取再開の可能性について、適宜②③での再評価を経たうえで、現在のAHNの継続要否について家族・関係職種を交えて再検討する。